



向井院長が開会の挨拶を

コープおおさか病院 東日本大震災復興支援メモリアル集会

「わたしたちは忘れません」2015.3.7(土) 14:00~15:00



司会は橋本社保平和委員長



指揮は水野理事長

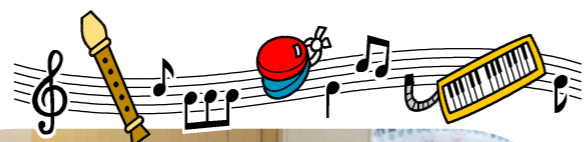


東日本大震災発生から丸4年経ち、震災といまだに続く原発事故を改めて問い直す機会として、3月7日(土)の午後、4回目となるメモリアルイベントをコープおおさか病院1階ロビーで開きました。

4年経っても変わらない福島の姿を福島県の浜通り医療生協から送ってもらった写真で紹介。2時46分で止まったままの時計、軽トラが座敷に乗り上げているつぶれたままの家、集配されずビニールでグルグル巻きにされた郵便ポスト、それにもかかわらず盗難被害にあっている事実、「エネルギー福祉都市宣言」の大きな看板が空しく、帰還困難区域との境界のバリケードの異様さが胸をつきました。

その後、歌の支援活動を行っている関西合唱団が「いのちつなぐ」山元町の歌「この町で」「花は咲く」の3曲を披露してくれました。混声合唱の美しい歌声が、一層被災者への想いをかきたてました。

ロビーでは、ボランティアサークル「やすらぎ」のおはぎ、食養科手作りのパウンドケーキの他、石巻のわかめや海苔、支援に行った岡田産の味噌や山元町のイチゴジャムを販売しました。収益金は被災者のもとへ届けます。震災支援をきっかけに結成した職員と家族、看護学生らによる「上を向いて歩こう隊」の合奏もあり、被災地へ想いをはせました。これからも被災地の現状と課題をしっかり共有して、わたしたちに何ができるのかを改めて考えていきたいと思います。



関西合唱団の歌声



「ふるさと」を手話コーラスと一緒に



月見副事務長が閉会の挨拶



来訪者はおおよそ100名でした



主催：メモリアル集会実行委員会

